

経済連情報 7

安全・安心・新鮮でおいしい
静岡県産の農畜産物をお届けします。

● 2023. 7
● NO.1306

第73回通常総会開催 ～新役員体制発足～

Main topics

第73回通常総会開催～新役員体制発足～…01

topics&news

令和4年度決算報告

静岡県経済農業協同組合連合会第73回通常総会…03

酒米「令和誉富士」を紹介

「ごちそうカントリー」番組収録と放送 ……03

「母の日」静岡県産花き消費宣伝

園児へカーネーションをプレゼント ……04

乾椎茸産業の発展を目指す

第42回静岡県乾椎茸箱物品評会 ……04

卓球少年・少女を食で応援

全農杯全日本卓球選手権大会 静岡県大会へ協賛…05

新任営農経済職員が知識技能取得

営農経済事業初任者研修会 ……05

清水港利用拡大に向け開催

輸出産地セミナーで講演 ……05

お知らせ

あぐりんく静岡からのお知らせ ……06

営農支援だより

大豆の新品種

「フクユタカA1号」の栽培試験を始めました。…07

お知らせ

静岡県からお得なキャンペーンのお知らせ…08

テレビ番組「しずおかごはんが食べたい!」のご紹介…09

JAタウンしずおか「手しお屋」おすすめ商品のご紹介…09

職員紹介 ……10



▲第73回通常総会



▲ごちそうカントリーの番組収録と放送

第73回通常総会開催

新役員体制発足

― 就任挨拶 ―



経営管理委員会会長
河原崎 友二

このたび、第73回通常総会ならびに経営管理委員会におきまして、経営管理委員会会長という大役を仰せつかりました。経済事業改革の必要性とその難しさを考えますと、責任の重さと、逆にそのやりがいを感じております。

コロナ禍で活動が止まっていたものが再開されてきております。

しかし、世の中は大きく変化しております。様々な面で従来を継続する事が最善とは言えなくなっていますし、この間、世界情勢と急激な円安で物価は高騰しております。

農業現場においては農業従事者の減少や耕作放棄地の増加等、地域を取り巻く環境は決して良いとは言えません。

また、近年で懸念されているのが気象の変化です。相手は自然界ですから我々ができることは限られてきます。それは従来の栽培方法や品種の見直しなど、最悪を考えた大規模な自然災害を回避する準備です。

さらに2024年物流問題も農業場面においても避けて通れません。しかし、地理的条件と従来からの技術力を備えた静岡県農業には追い風になることが期待されます。

このような時こそJAグループの連携は欠かせません。我々経済連も役割を自覚し、課題は山積しておりますが、課題に対しては緊急性と重要性を見ながら、組合員の皆様とJAグループの負託に応えるようスピード感をもって取り組む所存です。皆様に今後のご支援とご協力をお願い申し上げます。

― 退任挨拶 ―



経営管理委員会会長
松永 大吾

6月30日開催の第73回通常総会をもって、経営管理委員会会長を退任いたしました。在任した3年間、皆様には大変お世話になりました。

振り返りますとこの3年間は、新型コロナウイルス感染症による経済活動の停滞やロシアのウクライナ侵攻による穀物相場やエネルギー価格、各種営農資材類の価格の上昇など、農業を取り巻く環境は非常に厳しいものでありました。

このような厳しい事業環境の中で、農家組合員の所得向上や静岡県農業の振興に取組むとともに、本会における3つの課題の解決に向け邁進してまいりました。一つ目は、本会の収支状況の改善についてであります。県内JAの系統結集と系統利用、経済連役職員の意識改革を宣言して、この3年間連続して黒字化できた

6月30日、本会は県農業会館で第73回通常総会を開催しました。第73年度事業報告や経営管理委員会および監事の選任など、提出した2議案と付帯決議案すべてが原案通り可決され、新体制がスタートしました。

こと、これもひとえに皆様のご協力と役員全員の頑張り感謝いたします。

二つ目は、懸案であった静岡ジェイエフーズ株式会社の譲渡を成し得たことあります。ジェイエフーズ社員的生活を守れたことは最高の喜びでありました。

三つ目は、静岡県食肉センター再編事業についてであります。県の温かいご理解により事業主体となることをご表明いただきましたこと、今後5年間において本会を指定管理者に指名いただきましたことに深く敬意を表し、感謝申し上げます。以上三つの課題に方向性を示すことができましたのは、経営管理委員の皆様をはじめ、JAグループの役員皆様のおかげと心から感謝申し上げます。

「命の源である農業」が国民に理解・支持され、食料安全保障の重要性が改めて見直される昨今、本会が果たす役割はますます大きくなっていると考えます。

経済連役職員がこれまで培った力を更に発揮し、地域JAとの密接な連携と系統結集を通じて、農家・組合員の所得向上と静岡県農業の発展に貢献できるよう心から祈念いたしまして、退任の挨拶とさせていただきます。

ありがとうございました。

― 就任挨拶 ―



代表理事理事長
石川 和弘

このたび、第73回通常総会において経済連理事長に就任いたしました。重責を担い身が引き締まる思いであります。

J Aグループの県域機能として、会員・組合員の「農家所得の向上並びに生活の向上」、「単協との事業連携や営農経済事業の持続的発展に向けた確実な実行」、「地域貢献」、「健全経営」の4項目について、役職員一体となり、J Aグループの指導、協力をともに、県連・県行政等との連携を強化し、取引先にも目標を共有して頂き、2か年計画の達成に邁進してまいります。

今回の2か年計画は「産地の維持拡大に向けた農業振興」「新時代に対応した総合事業改革」「持続可能な経営基盤の確立・強化」となっています。本会は営農経済事業の確実な方向性の示唆・旗振り並びに連携した事業展開の指導・取りまとめが求められる状況から判断し、スピード感をもつて、確実に結果を出していきます。

本会が抱える課題も生産・販売・購買等多岐に渡っております。また、喫緊の課題である、生産コスト上昇は営農継続に大きな影響を与えており、生産者の営農継続に向けて、諸課題の迅速な対応をしてまいります。今後につきましても、信頼される組織として、『事業の見える化を図り』、『現場力を発揮』してまいりますので、関係の皆様のご指導ご鞭撻をお願い申し上げます、就任の挨拶とさせていただきます。

退任された役員の皆様

長きに渡り、JA事業の発展に多大の寄与をされました。感謝申し上げます。



代表理事理事長
加藤 敦啓



代表理事専務
寺田 国彦

新役員紹介

代表理事理事長



石川 和弘

代表理事専務



鎌野 厚

常務理事



藤野 勉

常務理事



山下 昌徳

常勤監事



市川 敬弘

令和4年度決算報告

静岡県経済農業協同組合 連合会第73回通常総会

6月30日、本会（事務局・総務課）は、県農業会館で「静岡県経済農業協同組合連合会第73回通常総会」を開き、県内JAの組合長や関係者らが出席しました。

総会では、松永大吾経営管理委員会会長より挨拶が行われ、議事では決議事項として加藤敦啓理事長より第73年度決算書類の承認について上程し、承認されました。



▲決議事項の説明をする加藤理事長



▲挨拶をする松永会長

酒米「令和誉富士」を紹介

「ごちそうカントリ」番組収録と放送

5月28日放送のテレビ番組「ごちそうカントリ」（静岡第二テレビ・毎週日曜日昼11時40分放送）では、本会が担当回となり、令和5年産から本県の新ブランド酒米として登場する「酒米・令和誉富士」を特集しました。

番組制作のため、本会（食糧部・企画管理課）は、酒米の精米を行うパールライス袋井工場を紹介したほか、「令和誉富士」を栽培しているJAのおおいがわ管内の生産者、八木栄幸さんのほ場や、静岡市清水区の神沢川酒造場などで取材協力をいただきました。

番組内では、八木さんのほ場より、



▲澤井志帆アナと國本良博アナに酒米の説明をする長橋部長

「令和誉富士」の開発経緯や特徴、栽培状況などを紹介し、神沢川酒造場では「誉富士」の日本酒と試験栽培で醸造した「令和誉富士」の日本酒の試飲を行いました。

パールライス袋井工場からは、食糧部の長橋隆史部長が出演し、酒米の精米工程や食用米との違いについて説明しました。

また、視聴者プレゼントのコーナーでは静岡県酒造組合と共同で、本会が運営する「駿府の肉処 静岡そだち」などで使える全国農協商品券を応募のあった視聴者の中から抽選で選ばれた6人に提供しました。



▲八木さんのほ場での撮影風景

過去の放送回を
配信中!

ごちそう
カントリ

hulu

通常2週間のところ、
1ヶ月間無料トライアル実施中!



「母の日」静岡県産花き消費宣伝

園児へカーネーションをプレゼント

静岡県花卉園芸組合連合会カーネーション部会（事務局・野菜花卉課）は5月11日、母の日を前に、感謝の気持ちと花に親しむ心を養ってもらうため、静岡県東伊豆町の東伊豆認定こども園の園児47名に、カーネーションの花束をプレゼントしました。県産カーネーションの生産面積は7haで全国8位（令和2年度）、主な県内産地は河津町、東伊豆町。同会は例年母の日を前に栽培が盛んな地域



の園児らにカーネーションをプレゼントしています。花束を受け取った園児はお礼に歌を披露し、部会員と園児が交流を深めました。



乾椎茸産業の発展を目指す

第42回静岡県乾椎茸箱物品評会

4月11日、野菜花卉課は、J Aふじ伊豆修善寺営農経済センターで、「第42回静岡県乾椎茸箱物品評会」を開きました。

生産技術の向上と生産意欲の高揚および系統共販を推進する椎茸産業の健全な発展に寄与することが目的。品評会には、J Aふじ伊豆（伊豆の国）から昨年を上回る886点が出品され、量目不足や乾燥不良などの第一次審査、形状や色、光沢などの第二次審査を経て、審査員協議のうえ各賞を決定しました。

上位入賞者は次のとおり（敬称略、カッコ内は銘柄）で、5月23日に伊

豆市のホテルワイナリーにて表彰式を開催しました。



- 金1席 林野庁長官賞・一般財団日本きのこセンター理事長賞
小柳出 勝（花冬菇）
- 金2席 静岡県知事賞・森産業株式会社社長賞
星谷 彦衛（上冬菇）
- 金3席 全国農業協同組合連合会経営管理委員会会長賞
星谷 彦衛（中葉厚肉）
- 金4席 日本椎茸農業協同組合連合会会長賞
秋津 和昌（大葉中肉）
- 金5席 静岡県椎茸産業振興協議会会長賞
石渡 昭彦（中葉中肉）
- 金6席 富士伊豆農業協同組合長賞
三枝 廣次（大葉厚肉）



卓球少年・少女を食で応援 全農杯全日本卓球選手権大会 静岡県大会へ協賛

5月20日、本会は藤枝市の静岡県武道館で開催された「全農杯2023年全日本卓球選手権大会（ホープス・カブ・バンビの部）静岡県大会」に協賛しました。

当日は県内から卓球少年・少女が集まり、ホープスの部100人（男子55人・女子45人）、カブの部44人（男子18人・女子26人）、バンビの部33人（男子12人・女子21人）の計177人の選手が熱戦をくり広げました。

本会からは、副賞・参加賞として「静岡県産こしひかり『静岡そだち』」を提供しました。表彰式では、食糧部の長橋隆史部長が上位入賞者へ副賞を贈呈し、白熱した試合を繰り広げた選手たちをたたえました。

上位入賞者は7月28日～30日に兵庫県神戸市須磨区のグリーンアリーナ神戸で行われる全国大会に出場します。

副賞・参加賞		
賞	内 容	対象
優 勝	静岡そだちこしひかり 5kg×3袋	6人
準優勝	静岡そだちこしひかり 5kg×2袋	6人
3 位	静岡そだちこしひかり 5kg×1袋	12人
参加賞	静岡そだちこしひかり メッセージライス 300g	177人



新任営農経済職員が知識技能取得 営農経済事業初任者研修会

生産振興開発課は、JA静岡中央会と共催で、営農経済部門の初任職員の研修会を、菊川市の静岡県農業研修会館などで開き、JA職員49人が参加しました。

研修会は、2班に分かれて行い、前後期で各班2回実施します。第1班は5月11日・12日、第2班は5月16日・17日のそれぞれ2日間実施しました。

参加者は、同課の市川健コンサルタントより農業希釈・散布についての講義、山田景寛課長、若月敏明審査役より、販売・購買事業の基礎知識に関する講義などを受けました。また、大井川肥料工場や同工場内の土壌肥料分析センター、肥料倉庫を現場視察し、研修会の最後には参加者一人一人が決意表明を行いました。



清水港利用拡大に向け開催 輸出産地セミナーで講演

流通開発課は6月5日、静岡市清水区の清水テルサで、農林水産省が主催する「GFP輸出産地セミナー from 清水」に参加しました。同セミナーは、「清水港の利用拡大に向けた意見交換ネットワーク形成」と「輸出産地形成の活性化」をテーマに開催し、勝俣孝明農林水産副大臣や川勝平太静岡県知事をはじめ、県内外から農林漁業関係者約190人が参加しました。

セミナーでは、輸出実証の参加生産者や清水港を活用する輸出事業者による講演、パネルディスカッションなどを実施しました。本会からは、流通開発課の箕浦秀紀課長補佐が登壇し、清水港を活用した農産物輸出について東南アジアを中心に県産農産品を販売する本会の輸出事業の取組を紹介したほか、清水港の継続利用に向けた産地間の協力体制の強化と商流、清水港関係者が一体となった利用推進を呼びかけました。



▲講演する箕浦課長補佐

JA職員全員利用可能

農業に役立つ情報が満載

営農ナビ あぐりんく静岡

イントラ版としてJAの皆様に情報発信していきます。

生産振興情報

安全分析
営農指導
担い手支援(TAC)

NEW!!

資材等価格 高騰対策

肥料農薬情報

肥薬通信
推奨配合肥料紹介
施肥技術 等

野菜花卉情報

野菜花卉白書
作物技術原単位
指定産地報告 等

販売情報

市場概況 入荷量
販売・産地情報 等

生活葬祭 情報

茶業情報

茶情勢(一番茶、二番茶等)
生産対策
各種統計情報 等

建設情報

営業情報

農業機械 情報

営農資材 情報

柑橘果樹情報

生産対策
着花状況調査
栽培暦
柑橘誌紹介 等

食糧情報

総合エネルギー 情報

気象情報

日本気象協会が
発行する長期予報 等

畜産情報

畜産市場情勢

情報交換スペース

営農 目安箱

登録した利用者が
利用できる掲示板です。

経済連各部署からの情報を
イントラネットを活用して発信!

各種イベント情報・リンク集も充実!

JA静岡経済連

担当：営農総合対策部 生産振興開発課 (TEL：054-284-9729)

大豆の新品種「フクユタカA1号」の栽培試験を始めました。

一 概況

静岡県における大豆品種は、「フクユタカ」が昭和57年に奨励品種に採用されて以来、約40年にわたって、ほとんど1品種で静岡県の大豆を支え続けてきました。

しかし、大豆は、台風などの気象災害の影響を受けやすく、カメムシの吸汁害や雑草が繁茂しやすいなど、問題点も多く、中でもコンバインによる収穫時の裂莢（れつきょう）による収穫ロスのため、収穫量が減少することが懸念されてきました。

二 難裂莢性品種の開発

難裂莢性品種の開発は、最近、主に、農研機構（国出資の独立行政法人研究機関）が中心になって進めており、各県が奨励品種に採用してきています。

その一例をあげると次のとおりです。

主な難裂莢性品種の状況

品種名	主な産地	種子生産県
里のほほえみ	東北、北陸 関東	東北、北陸 関東
サチユタカA1号	近畿、中国	山口、兵庫
フクユタカA1号	愛知、熊本 鹿児島	愛知
えんれいのそら	富山、福井	富山

※近隣では、愛知県が「フクユタカA1号」を奨励品種に採用している。

なお、難裂莢性品種の開発は、元の品種と難裂莢性を持った品種の交配種（F1）に元の品種を繰り返し交配する手法（戻し交配という手法）を用いて開発しており、長い年月をかけて開発した品種です。

三 難裂莢性品種である「フクユタカA1号」の現地試験の実施

(1) 関係機関の連携で実施

この取り組みは、J Aや経済連、県農林事務所及び静岡県米麦協会が連携して実施しています。

(2) 実施場所

袋井市内の農家において試験を行いました。

(3) 試験の結果

試験結果の概要は、次のとおりです。

①フクユタカとの比較では、裂莢しにくいことが、わかりました。
図1は、「フクユタカA1号」の乾燥後の状態ですが、図2の「フクユタカ」と比較して莢がしっかりしていることがわかります。



図1 フクユタカA1号

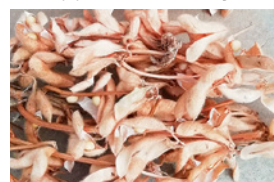


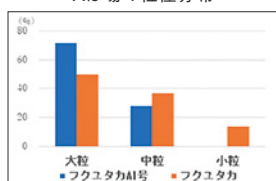
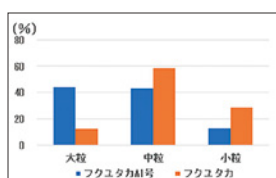
図2 フクユタカ

②収穫量が向上しました。

2カ所の試験圃の坪刈り結果の平均で約30%、収穫量が増加しました。

③粒の大きさの状況

粒径分布から、A1号のほうが粒が大きいことが分かります。



Bほ場の粒径分布

④実需者の反応

生産した大豆を実需者である県

内の「豆腐業者」に、実際に使ってもらった感想を聞いたところ、「フクユタカとそん色ない。」との回答を得ました。

このように「フクユタカA1号」は、難裂莢性を加えることにより「フクユタカ」の欠点を見事に克服したといえるのかもしれませんが、また、農産物検査法上、同じ品種群に属しているので、同じ銘柄として販売できるメリットがあります。

四 今後の方向・課題

① 詳細な試験の実施

今後は、もう少し栽培試験を行い、栽培上の課題の解決策を講ずる。（特に、収量性の向上策）

② 種子の確保

現在、静岡県内では、大豆の種子生産を行っていないため、他県に委託して種子を確保していますが、最近、種子の確保が困難となつていので、種子の確保策について、行政（県）を含めた検討が必要となります。

（食糧部営農技術コンサルタント 古川信好）

静岡県から

お得な キャンペーンのお知らせ

本会は、静岡県が展開する県内在住者を対象に県産特産品が当たる「美味しずキャンペーン」に協賛しています。応募者の中から抽選で850人に「特選和牛 静岡そだちステーキ&すき焼きセット」や「静岡県産フルーツセット」など最大10万円相当の県産特産品の詰め合わせセットが当たります。応募は、7月31日（月）までとなります。

「駿府の肉処 静岡そだち」も対象店舗となりますので、併せてぜひご利用ください！

抽選で 食べて貰おう! 美味しい静岡の特産物!

応募期間 2023年 6月1日(木) 10:00~ 7月31日(月) 23:59

対象者 静岡県内在住の方

最大10万円 「静岡の美味しいもの詰め合わせ」が抽選で当たります!

応募方法

STEP 01 静岡県内の飲食店で食事をする。
キャンペーン期間中に静岡県内の飲食店で飲食をし、飲食代(消費税・サービス料等)の合計が5,000円(税込)以上のレシートで1回の応募ができます。

STEP 02 飲食レシートの写真を撮影して専用フォームより応募する。
対象レシート5,000円(税込)分の写真をお手元にご用意の上、下記応募フォームより応募ください。応募はWeb(専用応募フォーム)からのみとなります。

STEP 03 抽選で最大10万円相当の「美味しい静岡」が当たる。

どれが当たるかは

当選人数	賞金	内容
50名	10万円	豪華 海鮮・特選和牛詰め合わせセット
100名	5万円	フルコース! 静岡ブランド特産品盛り尽くしセット
150名	3万円	特選和牛ステーキ&すき焼きセット 静岡産フルーツセット
550名	1万円	特選和牛ステーキ 天ぷら盛り合わせセット 天ぷら盛り合わせセット

お問い合わせ ふじのくに静岡県美味しずキャンペーン事務局 受付時間 平日10:00~17:00 問合せ先 info@fujinokuni-olshizu.com



※提供商品の画像はイメージです。実際にお届けする内容とは異なることがあります。

キャンペーン
ページは
こちら



「しずおかごはんが食べたい！」(テレビ静岡)

担当:食糧部 食糧課 (TEL:054-284-9737)

静岡県産米麦流通連絡協議会(事務局:食糧部)は、テレビ番組「しずおかごはんが食べたい！」(テレビ静岡・全11回放送)に協賛し、県産米のPRを行っています。

令和5年度の第2回目(6月17日)の放送では、お笑い芸人のモグライダーお二人が、浜松市から「静岡そだちコシヒカリ」を紹介しました。「静岡そだちコシヒカリ」は玄米食味値83点以上の県産コシヒカリを厳選し、高水分でもっちりとした食感が特徴。番組では、JAとぴあ浜松の生産者、平松勇人さんがビデオメッセージで出演し「静岡そだちコシヒカリ」をPRしました。

次回の「しずおかごはんが食べたい！」は、御殿場市から村上佳菜子さんがブランドコシヒカリ「このはなの恵」を紹介予定です。



JAタウン しずおか「手しお屋」おすすめ商品のご紹介

今月のおすすめ商品をご紹介します！



ヤマツ葉しょうが

ヤマツ葉しょうが約3kg
(JAふじ伊豆)

静岡県は葉生姜の生産量日本一。有名な「久能葉しょうが」にも使用される良質な種生姜の産地として知られる三島市・塚田新田では、数十年前から久能の栽培技術の提供を受け、葉生姜の生産が始まりました。

爽やかな香りと食べやすいマイルドな辛みが特徴の「ヤマツ葉しょうが」がJAタウン初登場！ぜひご賞味ください。

約3kg(15袋) **6,150円**(税込、配送料込み)

※別途クール代がかかります。



しずおか手しお屋

Q 検索

※販売価格や販売時期は変更する場合があります。

◀商品ページはこちらから

担当:営業部 流通開発課
(TEL:054-284-9728)

職 員 紹 介

JAや取引先の皆様に推進などでおじゃまさせていただいている本会職員を紹介します。

趣味・特技

音楽を聴いたり好きなアーティストのライブに行ったりすることです。「凜として時雨」や「RADWIMPS」などバンド調の音楽が好きでギターの練習を始めました。

担当業務

洋菜・土物を中心に青果の分荷及び売立業務を行っています。これまでにセルリー・馬鈴薯・パセリ・レッドキャベツなど約20種類の品目の分荷に携わりました。量も種類も多く、配送に間に合うよう限られた時間の中で分荷を行う必要があるため、素早さと正確さが重要だと感じています。

コメント

迅速な分荷業務と、生産者の方々にとって有利な価格での販売のために、産地や市場との積極的な情報交換に努めます。至らない点もあるかと思いますが、精一杯頑張りますのでよろしくお願いします。



みかん園芸部
販売情報センター

佐藤 寛太



食糧部 食糧課
糟屋 和磨

趣味・特技

中学生の時から始めたバレーボールを、社会人になった今でも続けています。日々のストレス発散にもなりますし、何よりチームメイトと勝利のために様々な意見を出し合い、切磋琢磨する環境がとても心地がいいです。

担当業務

県外のお米の仕入、管理を担当しています。また、仕入業者との商談、産地訪問を通じて有利仕入ができるよう心がけています。大きな金額が動く仕事なのでミスが無いよう、確認しながら行っています。

コメント

入会して3ヶ月が経ちました。まだまだ分からないことが多く、お米に関しても勉強の毎日です。一日でも早く経済連の職員として、皆様のお役に立てるよう、精進していきます。



ペットは
家族の一員
もしもの時

ご自宅まで
お伺いします

ペットの 出張火葬サービス

愛する家族のために

ありがとうの感謝の気持ちを込めて 悔いの残らないよう
最後まで飼い主さんが心を込めて見送ってあげましょう。

区 分	種 別	一任個別火葬	立会個別火葬
極小動物	ハムスター、インコなど	12,000円 (13,200円)	14,000円 (15,400円)
2kg 未満	フェレット、モルモットなど	15,000円 (16,500円)	17,000円 (18,700円)
2kg～5kg未満	猫、うさぎ、マルチーズなど	18,000円 (19,800円)	20,000円 (22,000円)
5kg～10kg未満	ミニチュアダックス、トイプードルなど	21,000円 (23,100円)	23,000円 (25,300円)
10kg～15kg未満	柴犬、コーギーなど	24,000円 (26,400円)	26,000円 (28,600円)
15kg～20kg未満	シェルティ、紀州犬など	28,000円 (30,800円)	30,000円 (33,000円)
20kg～25kg未満	ブルドッグ、ダルメシアンなど	32,000円 (35,200円)	34,000円 (37,400円)
25kg～30kg未満	ゴールデンレトリバー、ハスキー、ボーダーコリーなど	36,000円 (39,600円)	38,000円 (41,800円)

※上記金額には骨壺が含まれます。その他棺等は別途料金になります。 ※上記金額は諸般の事情により変更になる場合がございます。
※一部地域については、別途交通費を頂戴致します。

一任個別火葬プラン

個別火葬＋ご返骨

ご自宅にお伺いし、個別火葬いたします。終了後はスタッフが
拾骨を執り行い、骨壺・骨袋に納めてお返しいたします。

火葬車
でお伺い

個別火葬

返 骨

立会個別火葬プラン

個別火葬＋ご拾骨＋ご返骨

ご自宅にお伺いし、個別火葬いたします。終了後はお集まりの
皆様でご拾骨して頂き、骨壺・骨袋に納めてお返しいたします。

火葬車
でお伺い

個別火葬

拾 骨

返 骨



ご自宅まで
お伺い
いたします



静岡県のJA葬祭

TEL 0537-36-5110

お問い合わせ先：
ペット葬のアスモ

24時間365日対応

担当：くらし支援部 生活葬祭課 葬祭係 (TEL：054-284-9898)

